

1. 件名：関西電力(株)大飯発電所第3号機加圧器スプレイライン配管の分析調査に係る面談

2. 日時：令和2年11月16日 17時00分～17時50分

3. 場所：原子力規制庁2階会議室（TV会議システムを利用）

4. 出席者

原子力規制庁原子力規制部 検査グループ 専門検査部門
高須統括監視指導官、嶋崎管理官補佐、中田上席原子力専門検査官、
森田主任原子力専門検査官
原子力規制庁技術基盤グループ システム安全研究部門
河野主任技術研究調査官
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 安全研究・防災支援部門
鬼沢企画調整室長
関西電力(株)
大飯発電所 副所長 他12名

5. 要旨

○原子力規制庁から、資料1に基づき、今回行われる大飯3号機加圧器スプレイライン配管溶接部の亀裂の原因調査・分析に当たっての留意事項として、調査・分析の目的や今後公開会合等で議論する上で必要な情報等を説明し、関西電力(株)との間で認識の共有を図るとともに、今後の調査の具体的な計画や結果について適時情報共有するよう求めた。

○関西電力(株)から、資料2に基づき、今後行う予定の分析調査のうち非破壊検査の詳細、及び分析調査のスケジュールについて説明があった。

○関西電力(株)からは、原子力規制庁からの説明に対し特に意見は無く、調査結果については、速報的なまとめにはなるが、適切なタイミングで面談等により情報共有する旨の回答があった。

○原子力規制庁から、関西電力(株)からの説明に対して、以下の点についてコメントした。

・非破壊検査の結果により複雑な亀裂等を確認した場合は詳細検討するとしているが、具体的にどのような場合に立ち止まる計画なのかよく検討した

方がよいのではないか。

- ・ 亀裂の全体形状を確かめるため、亀裂を3分割した際の切断面の亀裂形状と今回行われるFMC/TFMの情報が一致しない場合、軸方向への切断位置等についてはより検討を行った方がよいのではないか。
- ・ FMC/TFMでより精緻な情報が得られるとしているが、今後の超音波探傷試験のためにも従来手法による情報を改めて取得し、検証することをメーカ等とも相談して検討した方がよいのではないか。

○関西電力(株)からは、原子力規制庁からのコメントについて検討する旨の回答があった。

6. その他

資料1：大飯3号機加圧器スプレイライン配管溶接部の亀裂の原因調査・分析に当たっての留意事項（原子力規制庁資料）

資料2：大飯発電所3号機加圧器スプレイライン配管の分析調査における非破壊検査の詳細について（関西電力資料）